

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人大阪市音楽団
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra

内容
<p>1. 指揮者、楽団員、事務局員の紹介。担当の先生による。</p> <p>2. マイクを指揮者に渡し(あるいはあらかじめ持っている。)改めて指揮者から挨拶。楽団の紹介。本公演のお知らせとそれに向けてのワークショップの説明。(歌唱指導、楽器試奏は無し)</p> <p>3. 楽団員による。楽器紹介(説明)とソロ演奏。1人持ち時間10分以内。(木、金、打)</p> <p>4. 時間があれば指揮者体験コーナー。本公演「カルメン」(楽譜準備)生徒2～3名</p> <p>5. 簡単な質問コーナー。</p> <p>6. マイクを担当の先生に戻す。終了。</p>

タイムスケジュール(標準)					
前日仕込み(有・○無) 会場設営の所要時間(1時間程度)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
12時30分	12時30分～ 13時30分	13時30分～ 14時30分	0分	14時30分～ 15時	15時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね1時限分程度です。					

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
6名：主指導者(指揮者)1、指導者(楽団員)3、スタッフ(事務局員)2 ※場合によりワークショップができない場合は視察スタッフ2名のみ

学校における事前指導

ワークショップが行えなかった場合は、ガイドブックを送付し、事前に学校で音楽鑑賞等をおこなっていただき生の演奏体験との差を学ぶ準備をしていただく。

児童・生徒たちの歌唱については行わず、小さく手拍子でリズム練習（アフタービートや他のリズムパターン）

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人大阪市音楽団
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra

演目
<p>【a. 小学生（低学年・中学年）向けプログラム】（90分）【b. 小学生（高学年）・中学生向けプログラム】（90分）児童・生徒たちの鑑賞中の密をさけるため、上記規定プログラムより、45分に短縮した演目2公演に変更する。その際、入れ替えの時間を「午前、午後」など十分空ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルピナ・ファンファーレ/F.チェザリーニ作曲(4'00")【a. b. 共通】 ・ハッピー・バンド・デイ・トゥ・ユー(楽器紹介)/酒井格作曲(5'30")【a. b. 共通】 ・ジュピター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト作曲 J.デメイ編曲(2'30")【a. のみ】 ・歌劇「ローエングリン」第2幕～エルザの大聖堂への行列/R.ワーグナー作曲 L.カイエ編曲(6'30")【a. のみ】 ・ベルシャの市場にて/A.W.ケテルビー作曲(6'30")【a. のみ】 ～指揮者コーナー～歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー作曲 高 昌帥編曲(8'00")【a. b. 共通】 ・「ライオン・キング」より/H.ジマー・E.ジョン・レボ・M 作曲 森田一浩編曲(8'30")【a. のみ】 ・シング・シング・シング/L.プリマ作曲 岩井直溥編曲(6'00")【b. のみ】 <p>アンコール: 星条旗よ永遠なれ(または校歌)/ J.P.スーザ作曲(3'30")【a. b. 共通】</p> <p>※実際の進行状況により伸びた場合は、45分間になるように曲目の一部を割愛する可能性があります。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
58名：演奏者50名、スタッフ8名

タイムスケジュール（標準）					
前日仕込み(○有 ・無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時	8時～10時 (G.P.なし)	① 11時～ 12時15分 ② 13時30分～ 14時15分	0分	14時15分～ 15時45分	16時
※本公演時間の目安は、午前11時前後と午後1時30分からの概ね1時限分(45分)程度です。					

実施校への協力依頼人員

特に無し（場合によりパイプ椅子等学校備品用意の事前準備に関わる人員）

演目解説

吹奏楽で用いられる楽器紹介

「吹奏楽って何だろう？」というテーマで吹奏楽の主な編成である金管楽器、木管楽器、打楽器、コントラバスをアンサンブルやソロの形式で紹介し、楽器の形や音色を目と耳から学びます。

リズムのお話

クラシックからポップスまで世界の様々な音楽ジャンルの中から、マーチ、ワルツ、ポルカ、ジャズ、ラテンのリズムに焦点を当てた選曲となっています。楽器紹介でも同じメロディを様々な楽器とともにリズムを変えたアレンジで長く記憶に留められる効果が期待できます。

体験・参加型プログラムとして

1. 指揮者体験：代表生徒に実際の指揮を体験し、音楽の構造と関わりを学びます。
2. 校歌（選択式）：当団の伴奏で合唱し、参加者全員で一つの音楽を作る体験をします。
3. 吹奏楽部との共演（選択式）：当団演奏の中に入り一緒に演奏を行い、曲想と音楽の構造との関わりについて学びます。

エンターテイメントとしての音楽鑑賞会

この鑑賞会をきっかけに、音楽に興味を持っていただくためにも、「音楽＝楽しい」と感じるパフォーマンスを交えた演目や、楽器を演奏できなくても手拍子で音楽に入り込み易い要素を取り入れた演目としています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

体験型プログラムの準備

指揮者体験コーナー：指揮者になって1分程度の楽曲（2拍子）曲を演奏する。

合同演奏（吹奏楽部）、選択アンコール（校歌斉唱は無し）、手拍子参加呼びかけ等

児童生徒とのふれあい

演奏中や指揮者トークの間、児童・生徒の皆さんの方を向き、表情や様子を伺い、笑顔で親しみを感じあえるように工夫する。

終演後、ハイタッチや「また空いましょう！」の声かけの代わりに、全員で大きく手を振り、別れを惜しむ気持ちや、感謝の気持ちが伝わるようにいたします。